

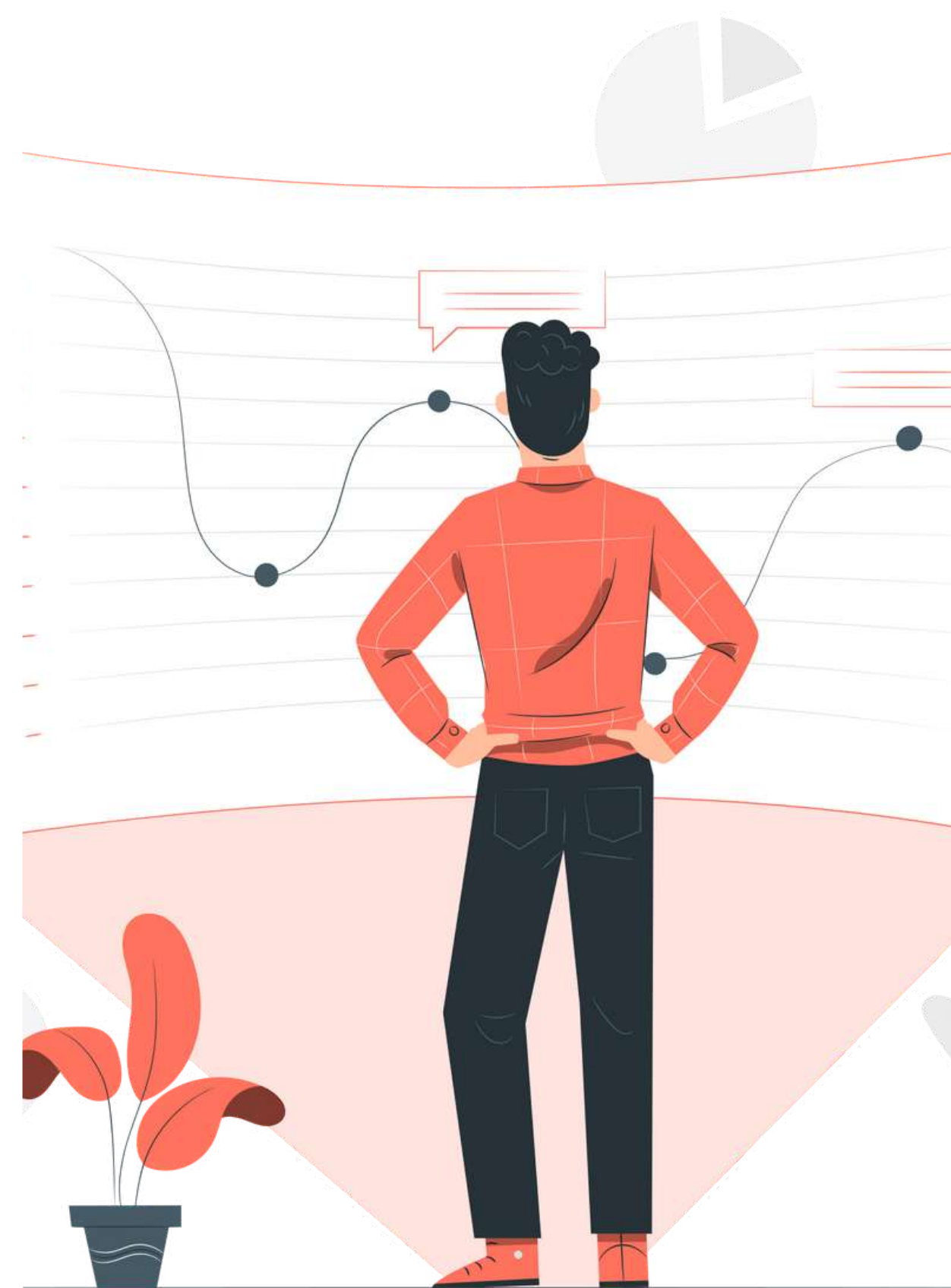
保存版

＼ 活用事例までわかる！ ／

生産シミュレーションって 何に使えるの？

シミュレーションの使いどころ
完全ガイド

今すぐ使える
「工場診断チェックリスト」
付き！



本資料でわかること

1

生産シミュレーションが
求められる背景

現代の製造業において、
生産シミュレーションが必要な
理由・背景をご紹介します



2

自社の課題に対して、
生産シミュレーションは
使えるか

今すぐ使える
「工場診断チェックリスト」で
課題別に確認できます



3

生産シミュレーション
「だから」できること

生産シミュレーションだから
こそできる「3つの活用シーン」を
ご紹介します



目次



01

生産シミュレーションが
求められる背景 p.4

02

自社の課題に対して、
生産シミュレーションは使えるか
p.8

03

生産シミュレーション
「だから」できること
p.12

04

生産シミュレータGD.findiのご紹介
p.16

1

生産シミュレーションが 求められる背景

現代の製造業の課題から、
生産シミュレーションが必要な
理由・背景をご紹介します



1

現代の製造業における課題

⚡ 現代の製造業は、変動の時代におかれています



現場カイゼンの限界

ものづくりの世界では、従来より現場カイゼンによる生産性向上が図られてきました。確かに生産力の基礎をつくるという意味合いではカイゼン活動も重要ですが、市場や需要、製造環境が変化し続ける現代では、現場カイゼンで解決できないような課題が急増しているのが現状です。

変化に柔軟に対応できる組織作り

感染症のパンデミックであらわになったように、現代市場は多くの不確実性要素をはらんでいます。製造業においても、不確実性のリスクに柔軟に対応していく力が求められています。

生産現場からマネジメントを一気通貫で改革する仕組み

現代では、かつてのような大量生産から「多品種少量生産」が主流になりつつあります。この多品種少量生産の生産管理は、生産性指標と品質指標だけを管理すればいい大量生産のように単純ではないため、適切な在庫管理や生産計画の立案が求められますが、「ベテラン技術者に依存してしまっている...」というように“ノウハウの属人化”が進んでいることも少なくありません。つまり、生産現場からマネジメント層までを一気通貫して「見える化」し、改革する仕組みがこれからの勝ち抜くポイントになるといえます。

1

生産シミュレーション が求められる理由



生産シミュレーションは、
これらの課題を解決する最適解
を導くことができます



生産ラインの見える化

生産シミュレーションなら、生産ラインや工場におけるヒト・モノ・資源といった動的な要素をとらえることができます。つまり、属人化によりブラックボックスになりやすい生産ラインの見える化を実現することができます。

現場カイゼンより先回りして手を打つ

製造段階で発生するトラブル・ロスコストの7～8割は、上流の設計、開発段階で決定しているといわれています。つまり、製造段階前に生産シミュレーションを行うことで現場カイゼンよりも先回りしてボトルネックや起こり打つリスクを発見し、手を打つことができます。

現場カイゼンよりもお得

ここまで読んだ方のなかには、「とはいっても今まで通り現場カイゼンの方が安くすむでしょ」とお考えの方もいらっしゃるかと思います。一見すると、目の前のものをカイゼンしていく方が早くて安上がりにも思えます。しかし、現場カイゼンのみでは目指すべきゴールが見えず、長年カイゼン活動を続けているのに対して成果が上がっていない...ということも少なくありません。

つまり、生産シミュレーションで生産ラインの「あるべき姿」と現実とのギャップを明らかにし、そのゴールに近づく方策を検討するほうが、実はコストも抑えつつ早く結果が得られるのです。



Chapter #1 Summary

現代の製造業では、変化という「リスク」に柔軟に対応することが求められています。

生産シミュレーションを活用することで、ブラックボックス化している生産ラインを「見える化」し、現場カイゼンより先回りして手を打つことができます。

2

自社の課題に対して、 生産シミュレーションは 使えるか

今すぐ使える
「工場診断チェックリスト」で
課題別に確認しましょう





工場診断チェックリスト

こんなお悩みはありませんか？

現状のフロアレイアウトには、ムダがあるような気がするけど、具体的な解決方法が見えてこない

新しい設備、機器を導入したいけど、その定量的な効果を上司に示せない...

仕掛かり在庫の必要最低限数がわからない

新ライン、新工場をつくることで稼働率は本当に良くなるのか？と疑問に感じている

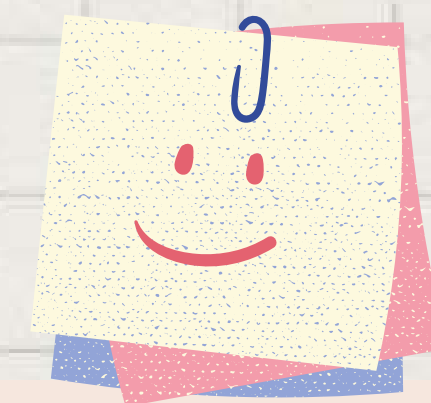
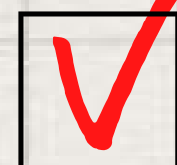
多品種少量生産の工程設計がうまくいかない

工程管理や生産計画のノウハウがベテランに属人化されてしまっている

複数ロットある生産ラインの人員編成、投入計画等の最適な形がみえてこない

多品種やチョコ停、搬送作業などをExcelで考えることに限界を感じている

過去データから計算しているはずなのに、設計通りに量産がなかなか立ち上がらない






Chapter #2 Summary

実は...

これらのお悩みすべて
生産シミュレーションを活用
することで解決することが
できます！

 具体的な活用シーンは？
> Chapter3

3

生産シミュレーション 「だから」できること

生産シミュレーションだから
こそできる「3つの活用シーン」を
ご紹介いたします



3

生産シミュレーション の活用シーン



レクサー・リサーチの
生産シミュレータGD.FINDIの
活用事例をご紹介します



1 既存生産ラインの改善

既存の生産ラインをシミュレーションし、最適なレイアウトや人員配置の検討にご活用

*導入事例

製造リードタイムの短縮、ボトルネックの発見、適正人員数の検討など

2 新規生産ライン・設備投資採算性 の評価検証

新規生産ラインや新しい設備を導入した場合の生産ラインの動きをシミュレーションし、投資採算性の評価検証にご活用

*導入事例

モノの流し方、ヒトの配置、最少限の作業員数の割り出し、設備能力の評価、製品別製造原価算定などの検討。設備投資採算性の評価など

3 最適な生産計画の立案

ERPデータとシミュレーションを連携し、最適な生産計画の自動算出

*導入事例

多品種の生産計画立案業務の自動化、最新の受注データとの連携など

1 既存生産 ラインの 改善

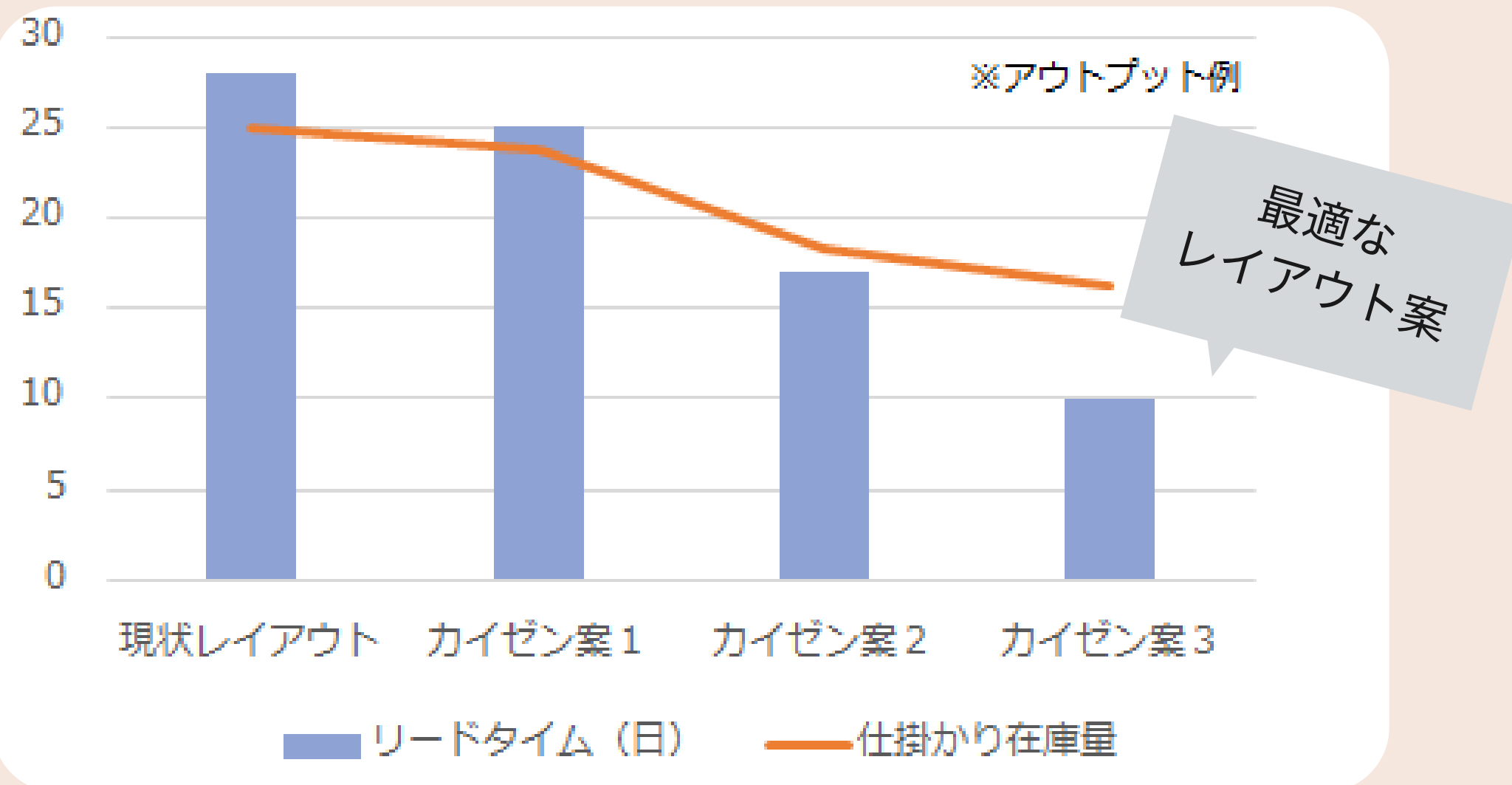
もっと知りたい！

生産シミュレータGD.findiの活用事例集
をご用意しております

[無料でダウンロードする](#)

■ 活用例

フロアレイアウトの改善案をシミュレーションで検討し、最適なレイアウトを導出。製造リードタイムの短縮に成功。



2 新規生産 ライン・設備 投資採算性の 評価検証

もっと知りたい！

生産シミュレータGD.findiの活用事例集
をご用意しております

無料でダウンロードする

■ 活用例

生産移管の投資案をシミュレーションで
検討し、最適な投資案を導出。

付帯作業時間や必要人員数
などを検証



3 最適な 生産計画の 立案

もっと知りたい！

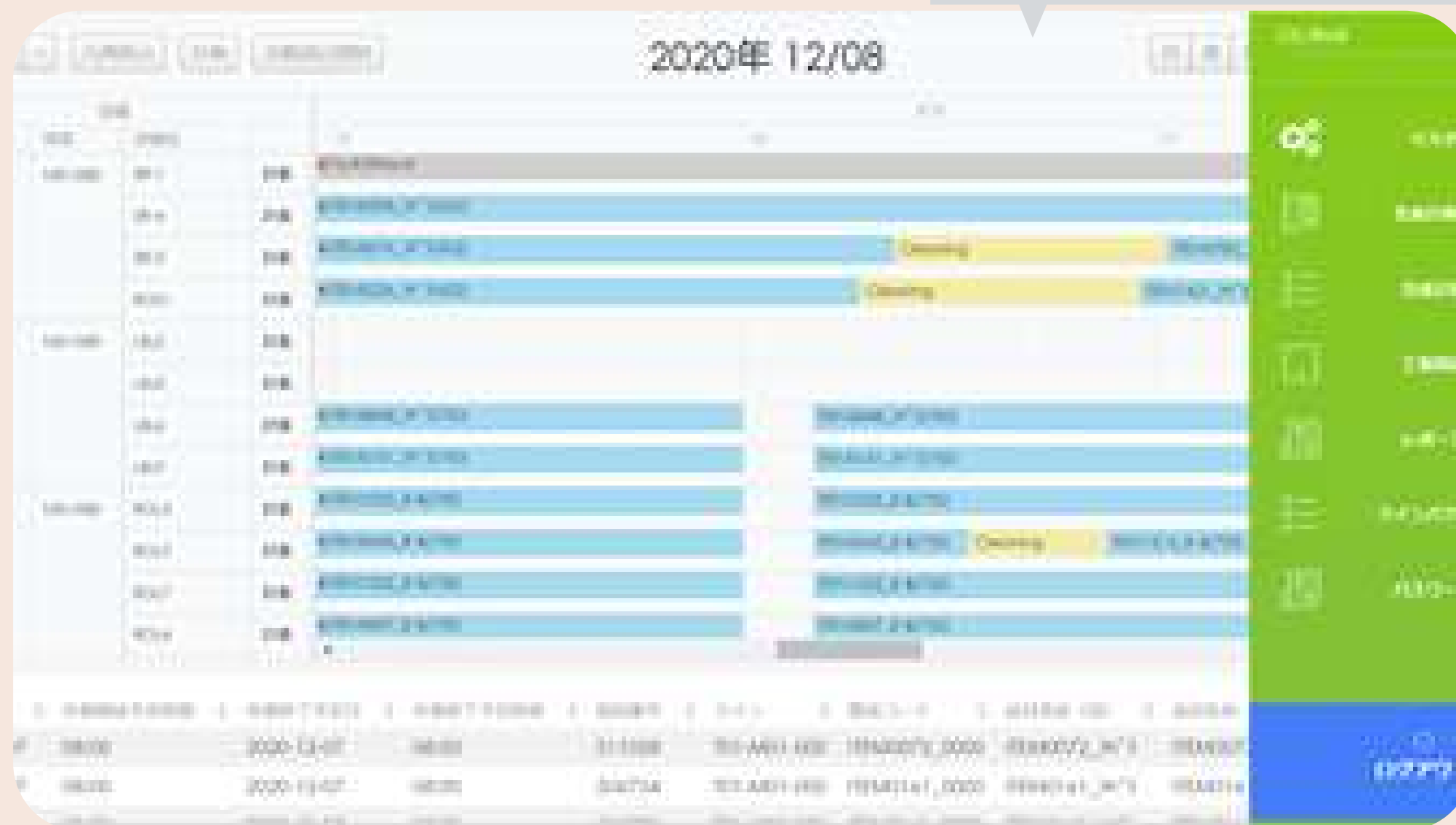
生産シミュレータGD.findiの活用事例集
をご用意しております

[無料でダウンロードする](#)

■ 活用例

最新の受注オーダー、各工場の稼働状況から
シミュレーションで最適な生産計画を算出。

最適な生産計画を
自動で算出し、
ガントチャートで表示



レクサー・リサーチの生産シミュレータGD.findiなら、従来の生産シミュレータよりも「安く」「早く」「簡単に」生産システムの改革を進めることが可能です。

誰でも使える
ハイコストパフォーマンス
生産シミュレーション

GD.findi

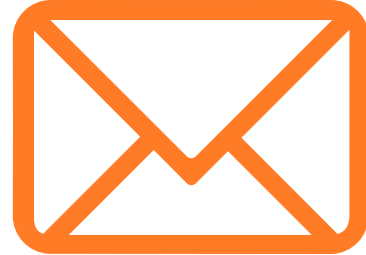
Production system simulation

[その理由は？](#)
[詳しくはこちら](#)



お問い合わせ先

株式会社レクサー・リサーチ



gdfindi.contact@lexer.co.jp



<https://gdfindi.com/jp>

Virtual,
powering everything

